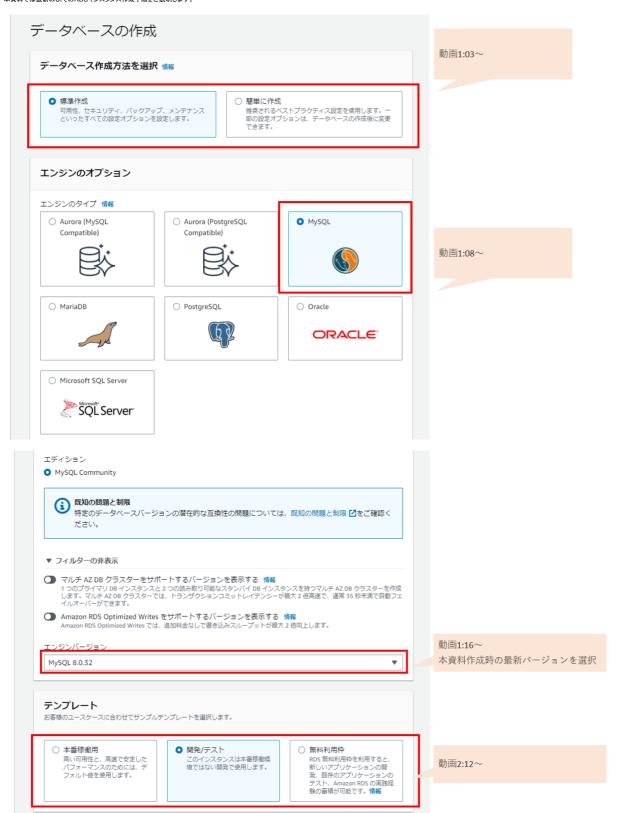
対象の動画

43. RDSを設置しよう(2)

現在のRDS作成画面が収録当時と異なるため、 本資料では最新のUIでのRDSインスタンス作成手順をご説明します。





設定 DB インスタンス識別子 情報 DB インスタンスの名前を入力します。この名前は、AWS アカウントが現在の AWS リージョンで所有しているすべての DB インスタンスにおいて一意である必要があります。 aws-and-infra-web ▼ 認証情報の設定 マスターユーザー名 情報 DB インスタンスのマスターユーザーのログイン ID を入力します。 root 1~16 文字の英数字。1 字目は文字である必要があります。 □ AWS Secrets Manager でマスター認証情報を管理する Secrets Manager でマスターユーザーの認証情報を管理します。RDS はパスワードを生成し、 ライフサイクル全体を通じて管理できます。 ③ Secrets Manager でマスターユーザーの認証情報を管理する場合、一部の RDS 機能はサポートされませ ん。詳細はこちら 🖸 □ パスワードの自動生成 Amazon RDS がパスワードを生成するか、お客様がご自身でパスワードを指定することができます。 マスターパスワード 情報 password 」 制約事項: 表示可能な ASCII 文字で 8 文字以上で入力してください次の文字を含めることはできません: / (スラッシュ)、(単一引用 符)、"仁重引用符例、および @ (アットマーク)。

マスターパスワードの確認 情報 password インスタンスの設定 以下の DB インスタンスの設定オプションは、上記で選択したエンジンでサポートされているものに制限されています。 Amazon RDS Optimized Writes - 新規 情報 ○ Amazon RDS Optimized Writes をサポートするインスタンスクラスを表示 DB インスタンスクラス 情報 ○ 標準クラス (m クラスを含む) ○ メモリ最適化クラス (r クラスと x クラスを含む) ○ バースト可能クラス (t クラスを含む) db.t2.micro 1 vCPUs 1 GiB RAM Not EBS Optimized • ◯ 以前の世代のクラスを含める ストレージ ストレージタイプ 情報 汎用 SSD (gp3) パフォーマンスはストレージから独立して拡張  $\overline{\mathbf{v}}$ 20 最小: 20 GiB。最大: 6,144 GiB

動画2:32~

動画4:02~

動画3:12~

「以前の世代の〜」にチェックを入れないと t2.microが選択できない

動画3:22~

